

強盗を想定、防犯訓練

大垣西濃信金 池田支店 職員が対応確認



職員が人質に取られた想定で行われた強盗防犯訓練。池田町池野、大垣西濃信用金庫池田支店

強盗事件を想定した防犯訓練が、池田町池野の大垣西濃信用金庫池田支店で行われ、職員が対応を確認した。

揖斐署の協力で行われ、同支店の職員15人が参加。本店や周辺市町の支店から15人が見学に訪れた。訓練では、強盗犯に

扮した男性署員が通用口から店に入ると、女性職員を人質に取り、刃物で脅して現金を要求。職員は非常ボタンを押して警察に通報、強盗犯が現金を奪って走り去るとすぐに後を追ひ、逃走した方向を確認した。

訓練後、犯人の顔や体格、服装などの特徴を紙に書き出し、署員に報告。タミー人形を使ってカラーボールを投げる訓練も行った。辻振一郎支店長は「来店客へのあいさつや店周辺の見回りなど、日頃から強盗に狙われないような取り組みを続けていきたい」と話していた。

(山田雄大)